

## ☆作業日あれこれ

新年の抱負なども記載されることもなく河辺林通信1月号は発行されましたが、気負いもなく今年も粛々と活動を継続するという事だろうと記述を挟った主は考えております。今年も皆様、できる力を遊林会のためにお願いします。

さて新年最初の活動日は9日、天候に恵まれ午後は作業を取り止め新年会とはいかなかったようです。この日の観察会担当のブンちゃんはいつもと趣向を変え、書き初め大会を計画しました。遊林会らしいのは、外で筆を作るところからということでしょうか。外と言っても竹ペンではなく、筆の長さに切ったヤダケ(矢竹)の先を石などで丁寧に叩いて繊維の状態にするのです。ブンちゃんから切り揃えた竹を受け取った面々は、石や薪を探してコンコンと叩き筆作り、書き初めを開始です。適当な一字がなかなか浮かばず考え込んでしまう方や、講釈を垂れながらサッサと書き終え、2枚目にかかる方など様々です。ヤダケの竹筆は意外に書き易い感じです。焼鳥名人は、書き終えたとブンちゃんが芋判で用意した落款をペタリ、大満足の様子でした。これで終わりかと思っていると、ハチで作った特大の竹筆が登場、



新春書き初め

ベニヤ板一枚の大きさに書きましょう、どなたか代表で書いて下さいとのお言葉であります。一人目は書に対する講釈を垂れておられた突撃隊長殿です。ほうきのような竹筆を手に講釈とともに勢いよく書き上げ、二人目にバド・タッチ。次は焼鳥名人、こちらにもこやかに書き上げ、先ほどの芋判落款で完了かと眺めていると、名人ならばもしやと脳裏をよぎったのですが、予想に違わずの反応でありました。自らの手を墨に浸け、ペタリと手形をするして大満足であります。最後は女性代表、書にも達者な料理名人殿です。ご自身の背丈をはるかに超す長さの竹筆で、堂々と書き上げられました。皆様巨大な筆を操り、見事な書であります。

正月気分の前座が終わるといつもの通り作業です。交流広場では落葉掻き、飛べっ子達は最初の内は林床を掻いて落葉を集めていましたが、午後は囲いの中で集めた嵩張る落葉を飛び跳ねて圧縮する作業に夢中でありました。リーダーの蛇掴み名人によれば、「落葉のランポリン」とのこと

とです。これは後日、冬の森にやって来た保育園児達にも好評だったようで、森のブログに楽しそうな様子の写真がアップされています。機械刈部隊は、萌芽更新エリアなどで刈などの刈り払いです。竹林整備班は、クワ用竹の伐り出しですが、いつもの場所から堤防の近くの管理放棄エリアまで外を求めて移動して作業です。炭焼名人は久しぶりに窯詰め、炭焼の準備でした。去年は煙を見ていないなと思っていたら、



氷と園児

「去年は1回しか焼かんかったんで在庫がなくなってきたしな。来週から1週ほどかけて久しぶりに焼くわ。」とのことでありました。食事班は正月の餅を使って、簡単にとってもいつもの通りバラエティにとんだ料理の仕込みにてんてこまいです。お昼は、ぜんざい、炊き込みご飯、豚汁、ぶり大根、黒豆等々計9品。これを75人分も用意してしまう食事班はやはりすごい！94歳の婆も餅焼きやりに駆り出されておられました。

この日は、マルから「(ク)指名で30人の視察がありますから対応して下さい。それにお昼も一緒に食べてもらうことになっていますので、そのつもりで時間配分等をして下さい。」と言われていましたので、そのつもりはしていたのですが、このところ声帯を痛めて声が出ず、バド・マクを用意する有様です。視察内容も自分達が引き受けるときにはサツリと目的などをあらかじめ聞くだろうに、旧知の視察申込責任者の名を告げてくれただけであります。こうしたときは会場で皆様のお顔を見ながら考えることとなります。森を歩きながらの解説では時間オーバーとなり、後半をはしょってしまいましたが、お昼には間に合い、作業に参加したメンバーと一緒に食べて飲むこととなりました。クがいつも定席としておりますトラ見習テーブルでは、視察者の目を憚ることもなく楽しんでおりましたが、今回は視察者の方が上でありました。我らがテーブルに次から次に現れて好みのドリンクをリクエストされる方の姿に、こりゃ我らより上手やと感心した次第であります。もちろん視察者にも参加していただき恒例のお昼のミーティングを実施、1時半には午後の作業開始となりました。こうして遊林会の2010年最初の作業は無事に終わりました。

2月24日(水曜日) 週日活動 森の居酒屋は2月10日 午後7時頃～

2月13日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主催者：遊林会

連絡先：東近江市 花と緑の推進課 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先：携帯(丸橋)090-3352-3163

Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

第4水曜日の空は雲もなく真っ青で、絶好の活動日でした。この日は森の掃除作業に徹することに。まずは森の中にある「ちょっといっぷく」コーナーの解体です。この場所は、まだ森にネイチャーセンターはもちろんとはしなかった時に遊林会活動の拠点としていた場所ですが、作業小屋などが完成しそちらに拠点が移ってからはあまり利用しない場所となっていました。しかし、シボルの大きなアカシを囲みみんなでご飯を食べたその場所の雰囲気はなかなか捨て難いものがあり、森に来た一般の方に休憩してもらう場所にしようということで、数年前にキノ博士と焼き鳥名人が中心になって余剰の竹などを使いコップとテーブルやベンチを作って立派な休憩所を作っていただいたのです。そこに「ちょっといっぷく」の木の看板が掲げられ、再び人が集まりやすい場所になっていたのですが、何しろテーブルは雨ざらし状態ですから徐々に腐り、ついに穴が開いてしまいました。おまけに最近ゴミ捨て場のような様相を呈してきたので、この場を作っていただいた焼き鳥名人からも「もう解体してはどうか」との声があり、ついに解体することに。これを機会にこの場をすっきりしようと以前から置いてあったお釜や丸太ベンチなどもすっきり撤去することにしました。こうして軽トラ山盛り一台分の廃材が出た後に残ったのは、初代炭焼き名人から使っていた地中に半分埋めたドラム缶の炭窯のみ。これは遊林会の歴史の一部としてそのまま残すことにしました。この作業の後、2班に分かれて森の掃除の続きです。1班は先ほど撤去した丸太ベンチをチェーンソーや電動ノコなどできれいに削って木道から降りる階段に生まれ変わらせる作業です。腐っているように見えたスギの丸太ベンチでしたが、帯鋸を使って板材に仕立ててみると中の赤身の部分はまだまだきれいな状態でした。もう1班は森のあちこちに落ちている大きな枯れ枝・折れ枝の撤去作業です。枝といってもかなり太くチェーンソーが必要です。結局、午前・午後を通じて林内の10箇所以上の場所から軽トラダンプに6台分もの枯れ枝を処理しました。これらは、冬の間のたき火の燃料となります。

お待ちかねのお昼は、鮭のアラを使った粕汁に始まり、水菜入りアツアツの湯豆腐、白菜と豚肉の炊き合わせ、カブと鶏肉の煮物、そして遊林会自慢のおからコロッケなどなど超豪華。ちなみにこの日は午前中の休憩時に甘酒が、3時の作業終了後にはサツマ芋餡が入った揚げたてドーナツも出て、一同大満足の食事でした。

## ☆スタッフルーム情報

2010年が始まり、あっという間に1ヶ月がすぎました。冬の森はやはり静かで、とても寒い日や、雨がふる日は寂しくなってきました。

そんな日には、たき火や薪ストーブの近くに行ってしまう。ほとんど毎日、ファイヤーサークルではたき火が焚かれ、この寒さの中でも訪れてくださる方に体も心も暖かくしてくれています。冬の森には、冬でこそその楽しみがたくさんあります。保育園児達（森は4回目）と森をまわると、水辺に大きな氷がはっていました。見ているだけでも寒くなるのですが、子どもたちは手が痛いと言いながらも、氷を手にして喜んでる姿に、子どもってすごい!!と感心してしまいました。

学校などの対応が少なかったのも、その間スタッフは森に出て写真を撮ったり、ネイチャーセンター内の展示を作ったり、イベントに向けて準備をしたりしています。そこで森に来られた方への情報発信を今までよりも多く、わかりやすくできたらと思い、「河辺いきものの森 いきいき情報」ボードを作りました。その日の森のみどころやスタッフおすすめの散策ルート、イベント情報などをお知らせしていくつもりです。森に来られた際にはぜひご覧になってくださいね。

## ☆里山で学ぶ“いい大人”講座 まもなく終了

2007年度から3年間補助金をいただいて行っていた“いい大人”講座も、2月6日をもって最後になります。3年間で計29回のべ217人（予定）の方々に来ていただき、里山保全についての勉強や実践、森の素材を使った工作や染色教室など、さまざまな講座を行ってきました。この講座に参加いただいて、東近江市にこのような森があることを初めて知られた方、遊林会に来てくださるようになった方、新たに団体を作って保全活動やサークル活動を始められた方など、みなさんのこれからの一歩につながるようなきっかけ作りになったことを嬉しく思います。来年度から事業はなくなりますが、この3年間で培ったノウハウを基礎にして、ひきつづき大人の方向けの講座を主催していこうと思っています。また決まり次第、この通信やホームページでお知らせしますので、よろしく願います。

## ☆2月の作業日のお昼は

2月のお昼は体が温まる粕汁や季節の野菜を大盛にした煮びたしやぬた、etc、etc、盛りだくさんでお待ちしております。冬は里山保全活動の適期、大いに作業を楽しみましょう。

**容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！**